

スーパー耐久シリーズの第1戦は聖地「鈴鹿サーキット」で開催されます。タイヤがYOKOHAMAからピレリに変更になりセットアップに乗り方の修正に苦戦しております。そんな中、今回は昨年の優勝メンバーのAドライバー村上、Bドライバー脇谷、Dドライバー加藤に加えて今回がS耐初参戦となるCドライバーの中根選手の4名で戦って参ります。



3月30日金曜日 公式フリー走行

AM8時半から1本目は4クラスと5クラスのみでの混走です。まだ耐久レースの混走になれてない中根選手も精力的に走り込みます。村上が序盤に2分34秒36で2号車に続くクラス2位のタイム。午後は全クラス混走の中ですがこちらも村上がクラス3位と順調にセットアップを進めていきます。

3月31日土曜日 公式予選

朝から快晴で少し汗ばむ位です。ピットウォークもたくさんのファンが来てスーパー耐久の盛り上がりを感じます。そしてPM1時からの予選に臨みます。予選はA,Bドライバーのタイムの合算で決勝のグリッドが決まります。まずはAドライバーの村上。クリアを確保してアタックし2分33秒90でクラス2位。Bドライバーの脇谷も気合いを入れてアタックしますがエンジンが遅い？クラス7位に沈み合算でクラス6位から決勝に臨みます。Cドライバーの中根選手とDドライバーの加藤選手は本番想定の設定アップをしますがタイムが伸びない。センサー系のトラブル？メカも精力的にトラブルの原因を探しますが・・・。

4月1日日曜日 決勝

決勝の朝も快晴です。エンジンの高回転時のパワーダウンをメカも勢力的にトラブルの原因を探しますが決勝前のグリッドまでの試走でも症状が改善されず。とにかく粘り強いこうと決め、スタートはAドライバーの村上です。スタートして悪い予感的中、真っ直ぐで後続に簡単に抜かれます。それでも巧みな技で食



らいつき表彰台圏内で1時間20分走り、加藤選手に交代。加藤選手も安定した走りをしていたのですがフルコースイエローで脇谷へドライバー交代。タイヤ交換も済ませてこれからと言うところ、25分の走行でまたフルコースイエローが発動され、急遽、村上にドライバー交代。ここからルールギリギリの走行時間の3時間20分を目標に走ります。ドリンクのホースを焦って落としてしまい足がつりそうになりながら表彰台に乗りたい一心で3時間10分を走りきり残り1時間10分を加藤選手に託します。もうどうにも直線では厳しい中コーナリングスピードを生かして粘り、残り10分で4位を走行。万事休すかと思ったら2位を走行中のフィットが燃料給油でピットインしてラスト3分で逆転して3位表彰台です。最悪の状態の中チーム全員の手で勝ち取った価値ある表彰台です。

総括 チームオーナー兼ドライバー 村上

昨年はシリーズチャンピオンを獲得して周りには2連覇と言われながらプレッシャーがある中でメカ&スタッフが冷静に作業をこなしてくれ本当に成長したなあと感じました。今年は勝つと言う目標はありますが新しいドライバーの育成も考えながら進めていこうと思います。

プロに頼らず自分達で戦うことで共に成長していこうと思います。

今年は24時間レースもあり本当に予算的にもキビしいです。モータースポーツに興味がある企業様ありましたらぜひ紹介してください。

